

第1回「学びと実践」（陶芸）講座の報告

2018年10月23日に広大マスターズ友の会主催の、第1回「学びと実践」講座が開催されました。本講座は金田晋講師による第1部の「うつわとところ・陶芸の美意識の一側面」という講演と、第2部の「たたら製法によるカップとソーサーの作陶」という実践から構成されています。

秋の日の午後、工場跡の陶芸場に、友の会の会員10名をはじめ45名の方が講演会に参加し、学びの後の実践には39名の方が参加しました。

以下に写真によってその様子を報告します。

第1部 学び



[\(拡大写真\)](#)

金田晋先生をお招きして「うつわとところ・陶芸の美意識の一側面」と題して講演をして頂きました。



[\(拡大写真\)](#)



[\(拡大写真\)](#)

古代から中世及び近代の陶磁器が生まれた背景にある生活と思想と哲学にまで及ぶ金田先生の熱い講演に熱心にノートを取る方もおられました。



(拡大写真)

第2部 実践



(拡大写真)



(拡大写真)



(拡大写真)



(拡大写真)

12名と27名が2つの部屋に分かれ、夕刻までかかって39個の個性的で魅力ある
カップとソーサーが出来上がりました。

実践はここまでで、出来上がった作品は幹事の方で乾燥、焼成しました。そして11月の
末から完成品の受け渡しが始まりました。思っていたよりも軽いとか重いとか、色合いが
深いとか渋いとか、作るのが楽しかったとか難しかったとか、様々な声を賑やかに聞き
しながら、写真を撮らせて頂きました。その中から3枚の写真をアップします。



(拡大写真)

コーヒーカップとソーサー 乾燥後800度で焼成



(拡大写真)



(拡大写真)

薄織部釉と蕎麦釉を掛けた後1250度で焼成